MediaString 広告効果検証結果





- 広告主:某時計メーカー
- 目的: MediaString連携媒体におけるユーザーの質 広告の質の高さを検証
- 利用ツール: Google アナリティクス(GA4)
- 与件:広告主のサイトへ MediaString経由で流入したユーザーと他媒体経由で流入したユーザーのサイト内行動の比較
- データ期間:2023/07/13 ~ 07/31
- 比較対象媒体: Facebook, Instagram | LINE | YDA | MOBKOI | Unicorn | SmartNews



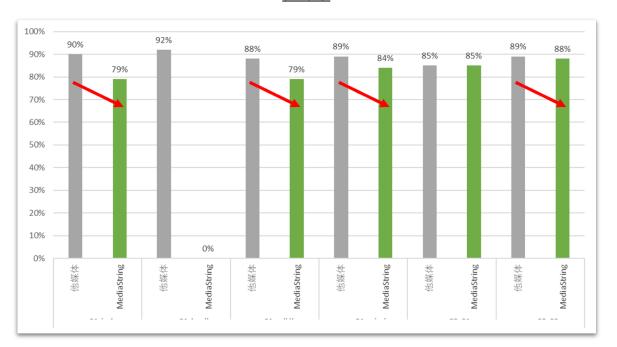
MediaStringを経由した流入はサイト滞在時間が長く、 送客の質が良い可能性が高い。

	媒体名	ユーザー数	新規数	新規率	セッション	直帰率	平均滞在時間
	FB/IG (stories)	29,778	24,885	83.6%	32,814	48.3%	36.8秒
 	MediaString	1,359	1,342	98.7%	1,410	63.9%	29.8秒
	мовкоі	322	310	96.3%	336	63.7%	19.9秒
	YDA	18,434	15,018	81.5%	22,342	76.9%	9.8秒
	SmartNews	16,862	14,515	86.1%	18,384	84.6%	6.4秒
	LINE(LAP)	102,419	88,376	86.3%	150,720	78.9%	5.8秒
	Unicorn	1,643	1,500	91.3%	1,780	83.9%	5.4秒

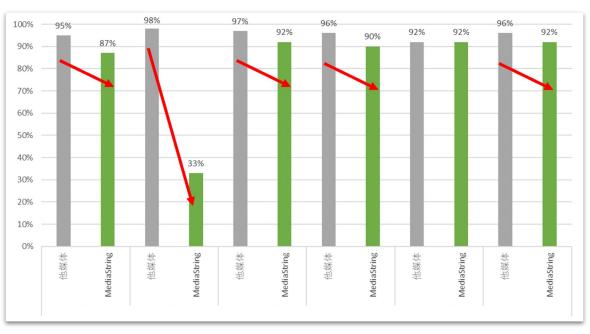


ほとんどのLPにおいて、MediaStringの方が他媒体よりも直帰率 及び 離脱率が低い結果に。 特に記事系文章を多く読んでもらう類のLPにおいて好結果となった。

直帰率

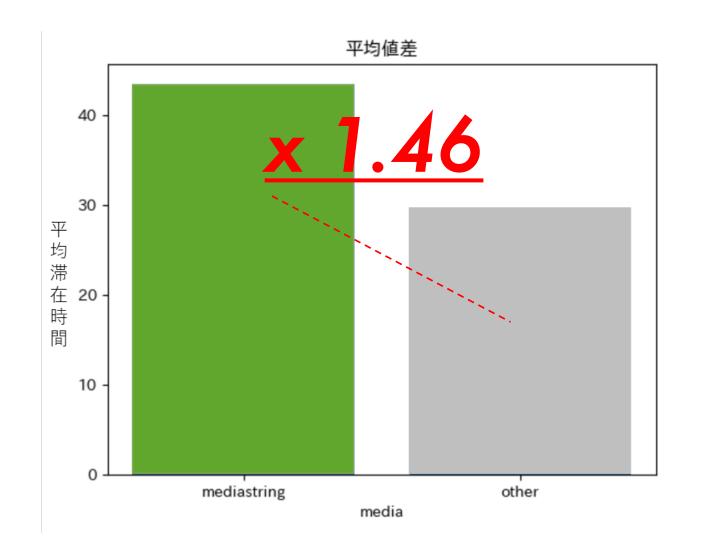


離脱率





他媒体全体の平均と比較すると、MediaStringを経由したユーザーの方がLP滞在時間が大幅に長い結果に。





LP遷移後のページのスクロール率は 他媒体と比較して90%の地点で有意な差があった。 特に文章を多く読んでもらう類のLPにおいて、顕著な差が出る結果に。

	LP		ALL		ビジュアル LP 1		ビジュアル LP 2	
	流入元		MediaString	他媒体	MediaString	他媒体	MediaString	他媒体
	合計セッション数		1,128	176,254	99	45,445	128	28,049
	スクロール割合	0%	100%	100%	100%	100%	100%	100%
		20%	57%	38%	67%	60%	69%	58%
		40%	38%	18%	24%	24%	23%	14%
		60%	30%	15%	19%	22%	21%	12%
		80%	24%		18%	19%	17%	11%
П		90%	20%	11%	18%	18%	13%	10%
П		100%	9%	6%	6%	13%	4%	6%

ビジュアル 重視 LP

→大きな差は見られず

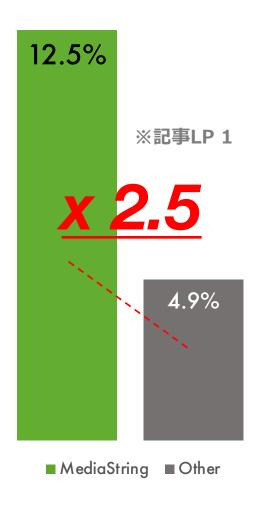
LP		記事系 LP1		記事系 LP2		記事系 LP3	
流入元		MediaString	他媒体	MediaString	他媒体	MediaString	他媒体
合計セッション数		546	81,191	347	15,296	11	11,037
	0%	100%	100%	100%	100%	100%	100%
	20%	42%	18%	46%	19%	91%	13%
	40%	29%	11%	37%	15%	55%	9%
スクロール割合	60%	22%	8%	29%	12%	45%	8%
	80%	16%	6%	25%	11%	45%	7%
	90%	12%	5%	23%	9%	45%	6%
	100%	5%	2%	10%	4%	18%	3%

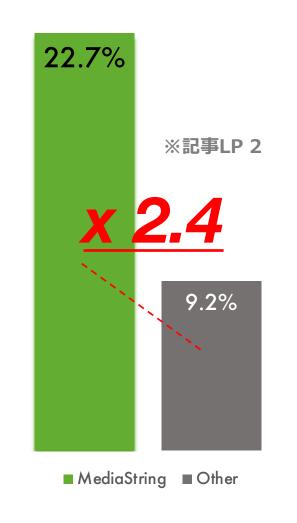
記事系 文章多用 LP

→90%スクロール率 に大きな差アリ



MediaStringのユーザーの方が、他媒体のユーザーよりも<u>読了率が高い</u>という有意的な差が見られた。 特に、より専門性が高い記事の方が大幅な差が出る結果に。









- ① MediaStringを経由したユーザーは直帰率が低くサイト滞在時間が大幅に 長い傾向が見え、送客の質の高さを証明した。
- ② LP到達後のページスクロール率が非常に高く、特に90%の地点において有意差があった。併せて読了率も高く、MediaStringが「質の高いコンテンツを提供するメディア群=丁寧な情報収集を好むユーザーの集合体」を証明した。
- ③ LP別の比較では特に「記事を読ませる」内容において あらゆる数値が他媒体を上回っており、同類の訴求ではポテンシャルを発揮する可能性が高い。※「メッセージ浸透」「機能理解」系案件との相性()